

芸術学んだ学生ら
合同で卒業制作展
きよつから岡崎で
県内で芸術を学んだ



芸術を学んだ学生が卒業を前に制作した作品＝岡崎市のギャラリー葵丘で

451

料。参加無
り。葵丘10
564(57)1

学生が卒業にあわせて制作した作品を持ち寄った「もうひとつの卒業展」が十日から、岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘で始まる。展示の場を提供して若い世代を応援しようとギャラリーが主催。名古屋芸術大、愛知教育大、愛知産業大、県立芸術大の四大学と愛教大大学院の学生計十三人が卒業制作を出品した。動物を躍動感たつぷりな描いたアクリル画や、特殊な樹脂で作られた赤青二色の熱帯魚を天井からつるして会場を泳いでいるように見せる作品などが目を引く。愛教大院二年の大木春菜さん(三)の作品「R」は、表面を砂で削ったガラスの造形物。丸みを帯びるように成型を工夫しており、柔らかさを感じさせる。十八日までで、十二日は休み。十日午後四時から県立芸術大の学生らによるピアノなどの演奏があり、同六時から出展者が作品解説をする。参加無料。参加無料。葵丘10564(57)1